

2023(令和5)年度事業報告

特定非営利活動法人アルカヌエバ

特定非営利活動法人 アルカヌエバ

法人としての取り組み

特定非営利活動法人として活動を開始してから15年が経過した。今年度は、昨年開催することができなかった日帰りバスハイク（鴨川シーワールド・5月）とともに15周年記念マルシェ（北八朔事業所にて・9月）の開催をおこなった。バスハイクは、バス3台に利用者・ご家族・職員が乗り込み楽しい一日を過ごすことができた。マルシェでは、各事業所が工夫を凝らした出店を行ったほか、ミニコンサート、ケアプラザや他作業所の出店もあり地域の皆様にもご来場いただき盛況の中で終了することができた。

法人運営を安定的に継続していくために、経営の安定化、職員の待遇改善、利用者の工賃向上を目差し、所長会議を重ねる中で様々な議論を行ってきました。まだまだ十分とはいえない状態にあるため、今後も継続して議論を重ね改善していく必要がある。

- * 「業務継続計画（BCP）」の作成
⇒各事業所において計画書を作成。

- * 法人内の運営費の流れを把握し、支出の見直しを行う
⇒会計ソフトの導入により、タイムリーに収支の把握が行えるようになった。
⇒収支の見直しを行う中で職員の就労環境の見直しも行った。

- * 障害者就労支援事業所アルカヌエバ 小山町・台村町事業所の定員変更
⇒2023年9月より、利用定員を37名から40名に増やした。

- * 各作業所の特色を持たせ、利用者ニーズに合った事業所運営を行う
⇒利用者に合った作業の提供ができるように作業内容を工夫した。

- * グループホーム利用者の高齢化に対応できる対策の検討
⇒個別支援計画を作成する中で個別の対応を検討してきた。

- * 職員の資質の向上
⇒自立支援協議会や市精連の部会に参加し、他の事業所と交流を行うなかで研鑽を積んだ。
⇒外部のオンライン研修や連絡会主催の研修に参加した。また、職員会議の時間を使い勉強会を行った。